

別紙1 年間を見通したいじめ防止指導計画について

いじめの未然防止や早期発見のために、学校全体で組織的、計画的に取り組むために、年度当初に組織体制を整えると同時に、年間の計画を立てて、学校全体でいじめの問題に取り組みます。

	項目	時期
児童生徒が主体となつた活動	<input type="checkbox"/> 異学年交流会の実施 <input type="checkbox"/> 学級活動での話し合い活動の実施 <input type="checkbox"/> 縦割り清掃活動の実施 <input type="checkbox"/> ボランティア活動の推進	代表委員会の計画による 毎月1回 通年 通年
教職員が主体となつた活動	<input type="checkbox"/> 一人一人の実態に応じた分かる授業の展開 <input type="checkbox"/> 職員相互の授業研究会の実施 <input type="checkbox"/> 教育相談週間の設定 <input type="checkbox"/> 教科、特別の教科道徳、学級活動等を中心とした道徳教育や情報モラル教育の時間設定 <input type="checkbox"/> P T A総会での学校の方針説明 <input type="checkbox"/> 学校通信を活用したいじめの防止活動の報告 <input type="checkbox"/> 学校公開（オープンスクール）の実施	通年 2学期 毎月 年3回 4月 学期1回 オープンスクールの実施時期
いじめの早期発見の措置	<input type="checkbox"/> 「児童生徒の発する具体的なサイン」の共有と活用 ※別紙2、3参照 <input type="checkbox"/> 教育相談週間の設定 <input type="checkbox"/> 学校独自のアンケートの実施 <input type="checkbox"/> 県下一斉のアンケートの実施 <input type="checkbox"/> 職員会議での情報の共有 <input type="checkbox"/> 進級時の情報の確実な引継ぎ <input type="checkbox"/> 過去のいじめ事例の蓄積	通年 毎月 毎月 12月 通年 通年(4月) 通年

※ 計画を作成するに当たっては、教職員の研修や児童生徒への指導、地域や保護者との連携などに留意し、総合的にいじめ対策を推進していきます。

別紙2

1 いじめられた児童生徒のサイン

いじめられた児童生徒は、自分から言い出せないことが多い。複数の教職員が、複数の場面で児童生徒を観察し、小さなサインを見逃さないことを大切にする。

場 面	点検欄	サ イ ン
登校時 朝の会		遅刻・欠席が増える。その理由を明確に言わない。 教職員と視線が合わず、うつむいている。 体調不良を訴える。 提出物を忘れたり、期限に遅れたりする。 担任が教室に入室後、遅れて入室てくる。
授業中		保健室・トイレに行くようになる。 教材等の忘れ物が目立つ。 机回りが散乱している。 決められた座席と異なる席に着いている。 教科書・ノートに汚れがある。 教職員や児童生徒の発言などに対して、突然個人名が出される。
休み時間等		給食にいたずらをされる。 給食時にグループを作る際、周囲の机と離されている。 用のない場所にいることが多い。 ふざけ合っているが表情がさえない。 衣服の汚れ等がある。 一人で清掃している。
放課後等		慌てて下校する。または、用もないのに学校に残っている。 持ち物がなくなったり、持ち物にいたずらされたりする。 一人で部活動の準備、片付けをしている。

2 いじめた児童生徒のサイン

いじめた児童生徒がいることに気が付いたら、積極的に児童生徒の中に入り、コミュニケーションを増やし、状況を把握する。

点検欄	サ イ ン
	教室等で仲間同士で集まり、ひそひそ話をしている。 ある児童生徒にだけ、周囲が異常に気を遣っている。 教職員が近づくと、不自然に分散したりする。 自己中心的な行動が目立ち、集団の中心的な存在の児童生徒がいる。

別紙3

1 教室でのサイン

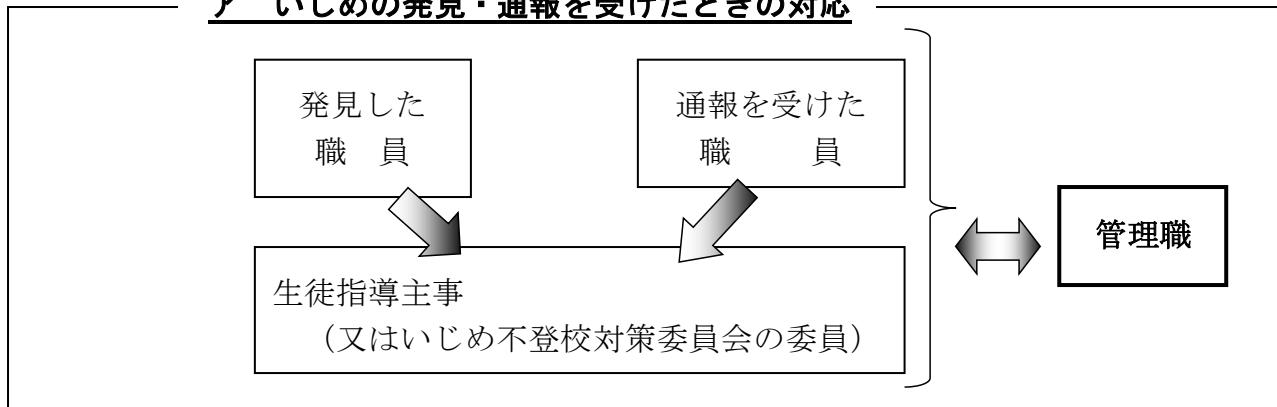
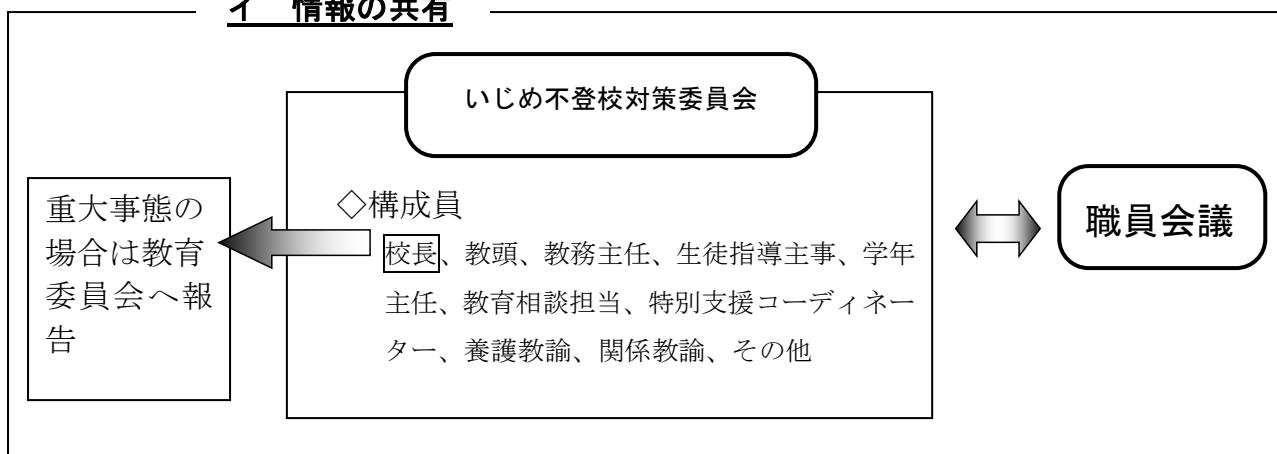
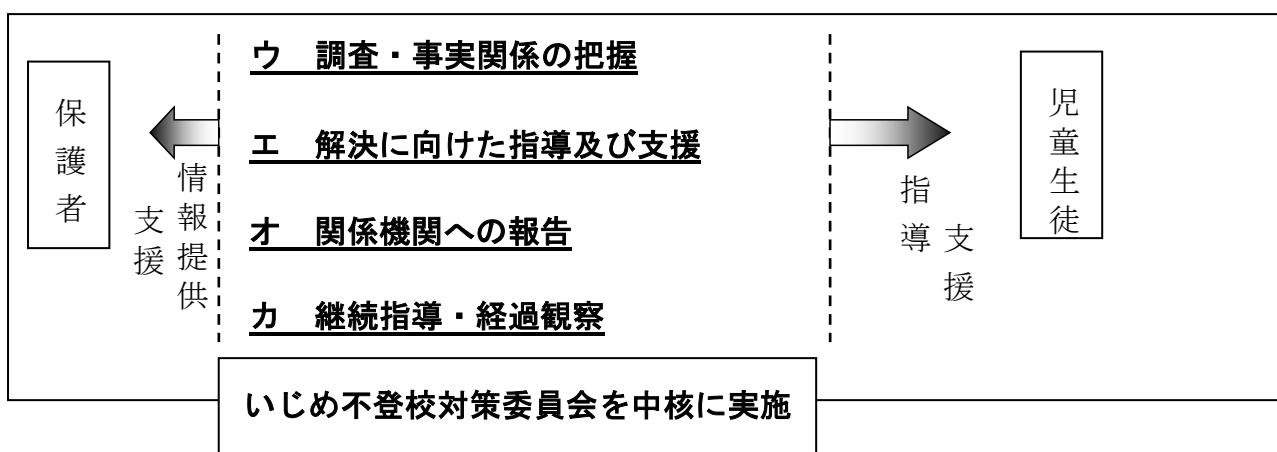
教室内がいじめの場所となることが多い。教職員が、教室にいる時間を増やしたり、休み時間に廊下を通る際に注意を払ったりするなどサインを見逃さないようにする。

点検欄	サイン
	<p>嫌なあだ名が聞こえる。 席替えなどで近くの席になることを嫌がる。 何か起こると特定の児童生徒の名前が出る。 筆記用具等の貸し借りが多い。</p>
	<p>壁等にいたずら、落書きがある。 机や椅子、教材等が乱雑になっている。</p>

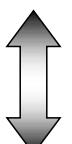
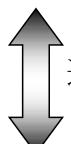
2 家庭でのサイン

家庭でも多くのサインを出している。児童生徒の動向を振り返り、確認することでサインを発見しやすい。以下のサインが見られたら、学校との連携が図れるよう保護者に伝えておくことが大切である。

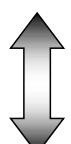
点検欄	サイン
	<p>学校や友人のことを話さなくなる。 友人やクラスの不平・不満を口にするが多くなる。 朝、起きてこなかつたり、学校に行きたくないと言つたりする。 電話に出たがらなかつたり、友人からの誘いを断つたりする。 受信したメールをこそこそ見たり、電話におびえたりする。 不審な電話やメールがある。 遊ぶ友達が急に変わる。 部屋に閉じこもったり、家から出なかつたりする。</p>
	<p>理由のはつきりしない衣服の汚れがある。 理由のはつきりしない打撲や擦り傷がある。 登校時刻になると体調不良を訴える。 食欲不振・不眠を訴える。</p>
	<p>学習時間が減る。 成績が下がる。</p>
	<p>持ち物がなくなったり、壊されたり、落書きされたりする。 自転車がよくパンクする。 家庭の品物、金銭がなくなる。 大きな額の金銭を欲しがる。</p>

ア いじめの発見・通報を受けたときの対応イ 情報の共有ウ 調査・事実関係の把握エ 解決に向けた指導及び支援オ 関係機関への報告カ 継続指導・経過観察

学 校

情報提供
支援犯罪行為の
通報・対応

連携



連携

教育委員会

警察署

地 域

関係機関（福祉・医療等）